

四條畷市の
財政って
どうなってるの

四條畷市



もくじ

- 1 予算・決算ってなんですか？
_____ 2
- 2 財政を家計簿におきかえると
_____ 4
- 3 どうして借金をするの？
_____ 6
- 4 財政の健康診断
_____ 8
- 5 財産(資産)と借金(負債)のバランスは？
_____ 9
- 6 身近な仕事にどれくらいお金がかかっているの？
_____ 11
- 7 わたしたちにできること
_____ 14

1

予算・決算ってなんですか？

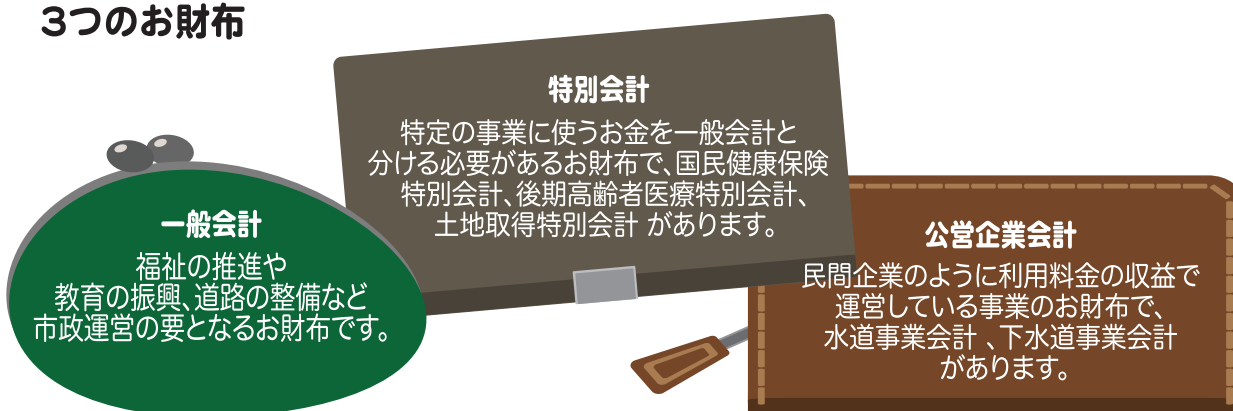
予算とは、 1年間にさまざまな事業をするために必要なお金の収入と支出の見積りのことで、

決算とは、 その予算をどのように使ったのかを示すものです。

お財布のしくみ

予算はお金の使い道などによって、大きく3つの財布(会計)に分かれています。

3つの財布



家族が別々にお財布を持つように、市にも別個のお財布があるんやなあ。

各会計には、それぞれ「収入」と「支出」があります。

収入

私たちが納める税金、市が借金するお金、国や大阪府からの補助金、手数料や使用料など

支出

環境、福祉、教育、道路整備など市の施策に使われるお金や借金を返済するためのお金

四條畷市の予算を見てみよう (平成26年度一般会計)

予算のうち平成26年度一般会計当初予算は **約196億円** です。

金額が大きすぎてイメージがわかへんなあ。

市民一人に対して毎日945円のコストがかかっているやで。

約196億円 ÷ 市民56,800人 ÷ 365日 = 945円

しじょうなわてクイズ

Q1 四條畷市の10年前の人口は？ ※平成26年3月末現在 56,812人

[1] 57,446人 [2] 55,596人 [3] 52,485人

答えは4ページ

【収入（歳入）の状況】

市の収入（歳入）には自主財源と依存財源があります。

自主財源

私たちが納める税金（市税）、
公共施設を利用するときに支払う利用料、
寄付金など市が自主的に収入できるお金

依存財源

国や大阪府から交付されるお金
（地方交付税、国庫支出金、府支出金など）

私たちが納めている税金（市税）収入の総額は、
約 65 億 7453 万円で収入全体に占める割合は 33.5% に対して、
依存財源が収入全体の約 59.7% で、半分以上を占めています。

【支出（歳出）の状況】

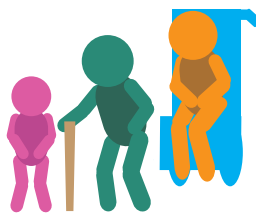
支出（歳出）をその性質ごとに分けると

人件費



市長や市議会議員への報酬、職員の給与などを支払うためのお金

扶助費



子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者などを支援するために必要なお金

物件費



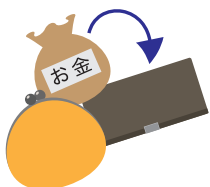
消耗品や備品の購入、出張旅費、委託料などを支払うためのお金

公債費



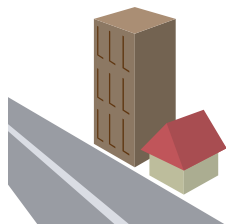
市の借金(市債)を返済するためのお金

繰出金



一般会計から国民健康保険事業や後期高齢者医療事業など別のお財布(特別会計)に移すためのお金

普通建設事業費



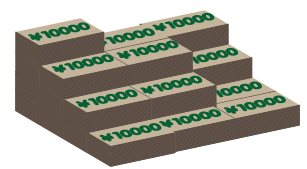
道路や建物を建設するためのお金

補助費等



民間の各種団体などへの補助に必要なお金

積立金



将来のための貯金(基金)に積立てるためのお金

しじょうなわてクイズ

Q2 四條畷市の1年間の出生数は？

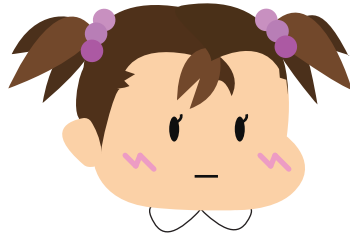
[1] 433人 [2] 540人 [3] 644人

答えは5ページ

2

財政を家計簿におきかえると

平成25年度一般会計の決算（約186億円）を、年収480万円（月収40万円）の家計に置き換えて説明します。



家庭の医療費や食費にあたるお金の割合が多いんやなあ。

なわて家・1ヶ月の家計簿

一般会計決算（歳入）			収入（入ってくるお金）	
市税	皆さんに収めていただく税金	65億2,470万円	給料	14万64円
地方交付税 国庫支出金・府支出金 地方譲与税など	皆さんが国や府に納めた税金の一部で、国や府から交付されるお金。国や府から交付される負担金や補助金など	93億137万円	親からの仕送り	19万9,671円
市債	建設事業などを行うために借りるお金	15億6,050万円	銀行からの借入	3万3,499円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	5億3,183万円	前月からの給料の残り	1万1,417円
繰入金	基金から取り崩したお金	235万円	貯金の切り崩し	50円
寄附金・使用料 手数料・財産収入など	市が保有する財産の運用による財産収入や施設の使用料などのお金	7億1,268万円	雑収入	1万5,299円
	合計	186億3,343万円	合計	40万円

Q1の答えは ① 番
10年前に比べて 634人減少していますね。
ちなみに、②は15年前、③は20年前の人口です。

そうやね。ここ数年で家庭の医療費（福祉や児童手当などの扶助費）が増えてるねん。将来への貯蓄も必要やから、欲しいものを我慢したりして、家族全員に協力してもらわなあかんあ。



支出（使うお金）		一般会計決算（歳出・性質別）		
食費	7万 1,745 円	人件費	議員、正職員などに支払われた報酬や給料など	33 億 4,214 万円
家族の医療費	10万 5,580 円	扶助費	児童や高齢者、障がい者への支援や生活保護などに使うお金	49 億 1,831 万円
光熱水費や新聞代など	4万 3,257 円	物件費	委託料や需用費などの一般行政経費として使うお金	20 億 1,504 万円
ローンの返済	5万 5,208 円	公債費	借入金（市の借金）の返済や、利息の支払いのためのお金	25 億 7,181 万円
子どもたちへの仕送り	3万 4,303 円	繰出金	一般会計から後期高齢者医療会計などの特別会計へ支出されるお金	15 億 9,796 万円
家・車・電化製品の修理や買い替え	1万 3,478 円	普通建設事業費・維持補修費	道路や学校などの建設や整備、施設の維持補修に使うお金	5 億 5,845 万円
自治会費・車の税金など	4万 4,303 円	補助費等	一部事務組合への補助金など	20 億 6,379 万円
貯金	1万 8,424 円	積立金	基金への積立金	9 億 2,766 万円
合計	38万 6,298 円	合計		179 億 9,516 万円

毎月40万円の収入に対して、38万6,298円の支出やから、毎月1万3,702円の黒字になったで。ちなみに、市の一般会計歳入歳出差引額は、6億3,827万円の黒字やで。



Q2の答えは ③ 番
出生数も減少傾向にあります。
ちなみに、①は10年前、②は5年前

3

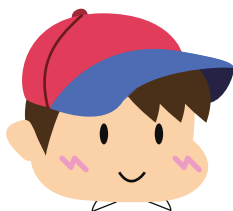
どうして借金をするの？



家計簿は黒字やったのに
なんで借金をするん？



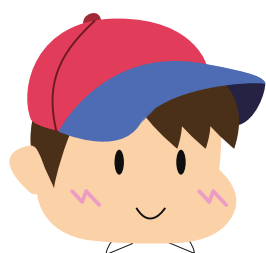
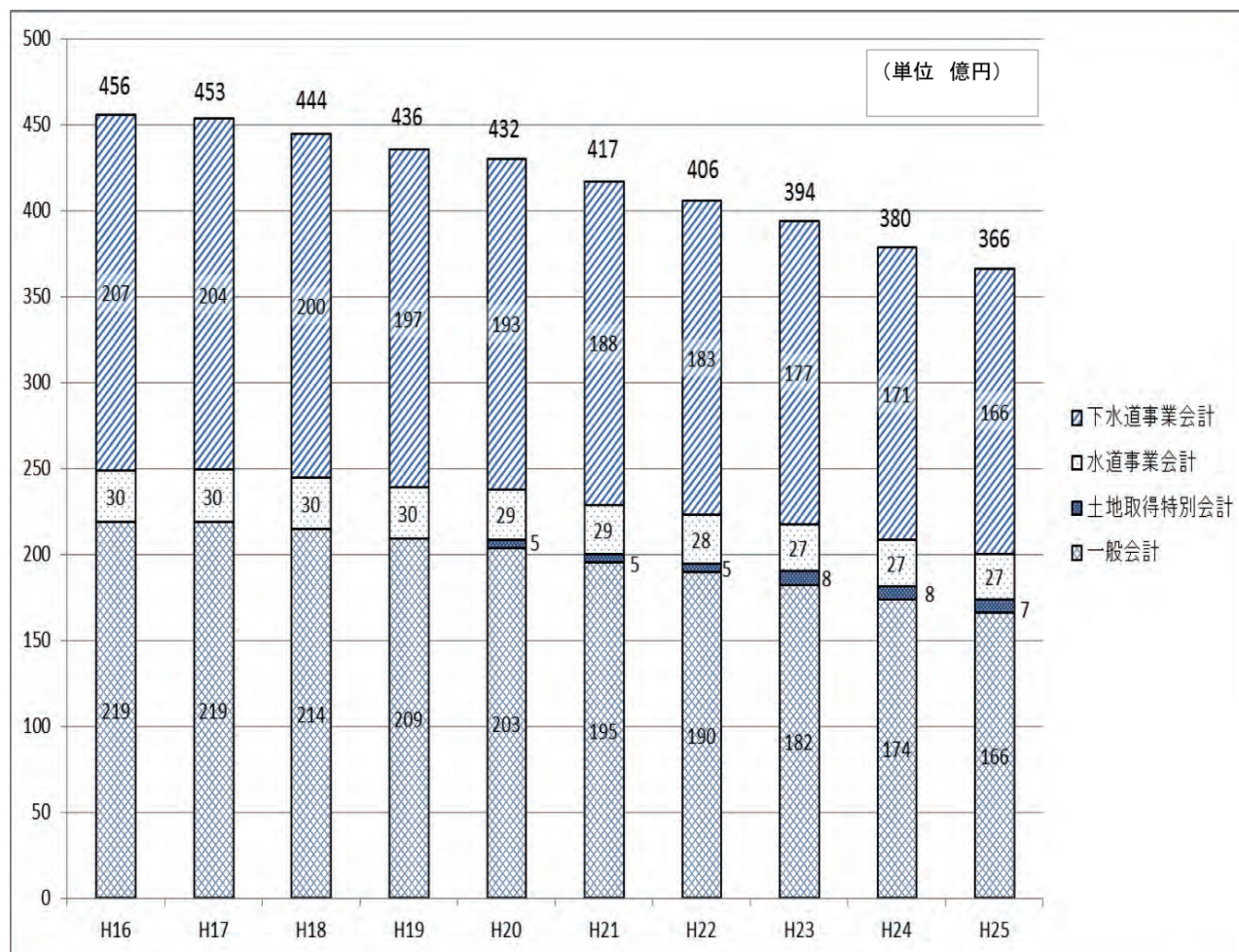
学校の建設や道路、下水道の整備など、何年にもわたって使用する施設の建設費用は、建設したときの市民だけがすべてを負担するじゃなくて、借金（長期分割払い）をして、建設後に利用する市民にも公平に負担してもらっているんやで。



将来の世代も含めて、利用する人がみんなで費用を分担する仕組みなんやなあ。
各家庭でも、住宅ローンや車のローンなどがあって、お父さんの給料で返せるように考えて借りるんやけど、市の借金てどのくらいあるんやろう？

市の借金(市債)の残高は総額で約366億円

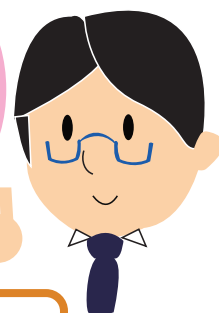
市債残高の推移



借金は減っているのかな？

見てのとおり！

必要な事業をしっかりと見極めたり、大規模事業はできるだけ事業費を抑制するなどして、着実に借金を減らしてるねん。



しじょうなわてクイズ

Q3 四條畷市の借金を一万円札で積み重ねると飯盛山と比較してどのくらいの高さになるでしょう？

[1] 飯盛山より低い [2] 飯盛山と同じくらい [3] 飯盛山より高い 答えは8ページ

4

財政の健康診断

Q. 借金の返済額は妥当なの？

A. 借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する指標である「実質公債費比率」は10.5%
この数値が高いほど、財政運営に余裕がないことを示しています。

Q. 将来、子どもたちに負担はかからないの？

A. 借金や複数年にわたる契約により約束した支払いなど、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどれくらいあるのかを示す「将来負担比率」は20.9%
この数値が高いほど、将来的に市の財政を圧迫する可能性が高いことを示しています。

健全化判断比率

平成19年6月に市の財政状況を判断し、財政破たんを未然に防ぐために財政健全化法という法律ができて、財政の健康状態を表す4つの指標を公表することが義務付けられています。



早期健全化基準(及び経営健全化基準)

破たんの恐れがあるとされる基準。基準を上回る場合、財政を立て直すための計画(財政健全化計画等)を策定し、部外監査を受ける必要があります。



財政再生基準

財政の立て直しができなくなるとされる基準。基準を上回ると借金をすることが制限されたり、予算に関して国からの関与を受けることになります。

財政健全化4指標	説明	平成25年度決算	平成24年度決算	早期健全化基準(%) (イエローカード)	財政再生基準(%) (レッドカード)
実質赤字比率	主に一般会計で赤字が発生していないか	—	—	13.13	20
連結実質赤字比率	全会計を含めて市全体で赤字が発生していないか	—	—	18.13	30
実質公債費比率	借金の返済額は身の丈にあっているのか	10.5	11.1	25	35
将来負担比率	将来子どもたちに負担がかからないのか	20.9	48.4	350	—

Q3の答えは ③ 番

積上げると約366mになり、飯盛山(314m)よりももっと高くなります。

※1cm=100万円として計算

5

財産(資産)と 借金(負債)のバランスは？

市(一般会計、土地取得特別会計)が持っているすべての資産や負債などのストック情報を表しています。

貸借対照表(平成25年3月31日)

(単位:万円)

借方	貸方	
資産の部	負債の部	
公共資産	固定負債	
有形固定資産	地方債	
生活インフラ・国土保全	230億 5,918万円	161億 1,329万円
教育	234億 7,509万円	長期未払金
福祉	6億 6,644万円	2億 3,348万円
環境衛生	11億 1,917万円	退職手当引当金
産業振興	2億 4,570万円	23億 4,872万円
消防	13億 3,713万円	損失補償等引当金
総務	42億 3,194万円	5,827万円
売却可能資産	6,000万円	固定負債合計
6,000万円		187億 5,376万円
公共資産合計	541億 9,465万円	流動負債
		翌年度償還予定地方債
投資等		20億 678万円
投資及び出資金	4,853万円	短期借入金
		0万円
貸付金	0万円	未払金
基金等	12億 2,500万円	2億 1,840万円
長期延滞債権	4億 5,905万円	翌年度支払予定退職手当
回収不能見込額	△1億 1,839万円	2億 8,896万円
投資等合計	16億 1,419万円	賞与引当金
		1億 9,344万円
流動資産		流動負債合計
現金預金	11億 1,043万円	27億 758万円
未収金	8,774万円	負債合計
流動資産合計	11億 9,817万円	214億 6,134万円
		純資産の部
資産合計	570億 701万円	公共資産等整備国府補助金等
		80億 1,159万円
		公共資産等整備一般財源等
		374億 8,425万円
		その他一般財源等
		△97億 1,450万円
		資産評価差額
		△2億 3,567万円
		純資産合計
		355億 4,567万円
		負債・純資産合計
		570億 701万円

目的別に、学校、保育所、道路、公園などの行政サービスに使われる土地や建物や備品など

現在行政サービスに使われていない資産のうちで売却可能な資産

四條畷市土地開発公社、地方公共団体金融機構などへの出資金の現在高

納付が遅れている税金など、納入期限が1年以上経過している長期の債権

長期の債権のうち、転居先不明等の理由で、回収ができないと見込まれる額

納期などが1年以内の短期の債権

市の借金の残高のうち、返済まで1年以上あるもの

現時点において、職員の全てが自己都合退職したと仮定した場合に必要な退職金の額

市の借金のうち、来年度予算において返済する額

来年度、定年退職する職員退職金支払い額

資産の形成のために使われた国や大阪府からの補助金など

資産の形成のために使われた市の財源

*この貸借対照表は、一般会計と土地取得特別会計の数値になります。

貸借対照表の左側(借方)には資産、右側(貸方)の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債、下部には借金以外で資産取得した財源である純資産を計上しています。

$$\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産}$$

市民1人あたり資産額 合計**100**万円

資産は、土地や建物などの有形固定資産が大部分を占めています。
市庁舎、学校、道路など市民のみなさんが利用するために、市は多くの資産を所有しています。

市民1人あたり負債額 合計**38**万円

負債は、学校など施設建設や道路の整備など、
将来にわたって使用する公共資産を形成するために
金融機関から資金借入することなどにより発生しているものです。

資産老朽化比率 **50.6%**

市の施設が建設当初からどの程度老朽化が進んでいるのかを
減価償却累計額をもとに計算すると、
耐用年数の半分が経過していることがわかります。

しじょうなわてクイズ

Q4 四條畷市の職員数は、平成25年4月1日現在で393人です。
では、10年前の職員数は、次のうちどれでしょう。

[1]442人 [2]532人 [3]572人

答えは11ページ

6

身近な仕事にどれくらい お金がかかっているの？ (行政サービスコスト)

①市民総合体育館の運営にかかるお金

運営費総額

約5,282万円
市民一人あたりの経費
約930円



収入額

約32万円
市税等の投入額
約5,250万円
市民一人あたりの市税等の投入額
約924円

②選挙にかかるお金 (市長選挙)

運営費総額

約1,807万円
有権者一人あたりの経費
約405円



収入額

0円
市税等の投入額
約1,807万円
有権者一人あたりの市税等の投入額
約405円

③コミュニティバスの運営にかかるお金

運営費総額

約4,476万円
利用者一人あたりの経費
約112円



収入額

約393万円
市税等の投入額
約4,083万円
利用者一人あたりの市税等の投入額
約102円

* 運営費総額はバス運賃収入を差し引いた市が実質負担した額

Q4の答えは ② 番
ちなみに①は5年前、③は15年前の職員数です。
市民サービスの向上に努めながら、人件費を減らしてきています。

④放置自転車等の撤去にかかるお金

運営費総額

約8,660万円

放置自転車1台あたりの経費

約18,041円



収入額

約40万円

市税等の投入額

約8,620万円

放置自転車1台あたりの市税等の投入額

約17,199円

⑤雁屋畑線築造にかかるお金

運営費総額

約36億4,648万円

市民一人あたりの経費

約64,185円



収入額

約694万円

市税等の投入額

約36億3,964万円

市民一人あたりの市税等の投入額

約64,063円

⑥ごみ処理にかかる費用

運営費総額

約9億1,062万円

市民一人あたりの経費

約16,029円



収入額

約1億520万円

市税等の投入額

約8億542万円

市民一人あたりの市税等の投入額

約14,177円

⑦住民票を発行するのにかかるお金

運営費総額

約7,084万円

住民票1枚あたりの経費

約2,999円



収入額

約851万円

市税等の投入額

約6,233万円

住民票1枚あたりの市税等の投入額

約2,638円

⑧図書館図書の貸出しにかかるお金

運営費総額
約8,556万円

貸出図書
1冊あたりの経費
約229円



収入額
0円

市税等の投入額
約8,556万円

貸出図書1冊あたりの
市税等の投入額
約229円

⑨救急車の出動にかかるお金

運営費総額
約1億79万円

出動
1回あたりの経費
約38,484円



収入額
0円

市税等の投入額
約1億79万円

出動1回あたりの
市税等の投入額
約38,484円

行政サービスを増やしていけば、
それに合わせて市民一人一人の
費用負担も上がっていくんやね。



7

わたしたちにできること



市の財政のためにどんなことができるん？

例えば、こんな制度や仕組みがあるねんで。



四條畷市サポート寄付金（ふるさと納税）

自分の生まれ故郷や、応援したい自治体などへ寄附をすること。
2,000円を超える寄附を行った場合、
一定の限度額まで個人住民税や所得税が軽減される制度です。

寄附されたお金は、寄附した方が活用したい分野の施策を選べるんやって。

お買い物は四條畷市内でしょう

四條畷市内でお買いものすることで地域経済が活性化し、
四條畷市の税収の増加にもつながります。



四條畷共通商品券（四條畷商業協同組合が発行するプレミアム付商品券）を利用して、
市内加盟店でお得にお買い物ができるねんで。

宝くじは大阪府内で購入しよう

宝くじの発売者は地方自治体（都道府県および指定都市）であり、
大阪府内で販売された宝くじの収益金は、大阪府の収入になることをご存知でしょうか？
サマージャンボ宝くじ等（市町村振興くじ）の収益金は、大阪府内の市町村が行う
事業の財源として私たちの身近な暮らしに幅広く活用されますので、府内で購入しましょう。



自分たちが住む四條畷市の財政に関心をもって見てみよう

どんな行政サービスにもコストがかかるねん。でも、私たちがごみの減量に努めたり、
放置自転車をなくしていくことでコストを減らせるものもあるねん。
私たちの身近な生活の中から財政を見つめなおし、できることから始めてみよう。





発行 四條畷市 総務部 財政課

〒575-8501

四條畷市中野本町1番1号

電話：072-877-2121 (代表)

電話：0743-71-0330 (代表)

デザイン協力 大阪電気通信大学